

三島正六 みしま しょうろく 小説家。大正六年二月二十五日東京生れ（一九六一）。筆名三島正、榎木新。父は三島霜川。早稻田大學中退後、新潮社、報知新聞社、京城日報社、滿洲日日新聞社等、勤め、戦後も新聞記者、雑誌編輯者を経く、昭和二十年頃から文筆生活。曾く武田麟太郎と師事した。

小説『歪められた少年期』（昭和二十一年一月二十日生活の友社）、『浅草の坊っちゃん』（昭和二十二年六月十日南社）等。

